（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら　草加神明教室			
○保護者評価実施期間	2026年1月23日	～	2026年2月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	52	（回答者数）	44
○従業者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	13	（回答者数）	13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラム活動	・5領域に沿ったプログラムの立案を徹底している。 ・毎日違う内容の領域を行えるよう計画をしている。 ・利用日数の多い児童は同じ内容のプログラムを行う事も　あるが、特性上複数回の取り組みを行う事で理解度が向上している。	・多様なプログラムを提供し続けられるよう、職員の担当領域を固定化を避ける。 ・発行者を明記する。
2	・定期的な活動報告	・月に一回、こぱんだよりを配布。 ・楽しみにしてくれている保護者もいる。 ・情報発信できる機会の一つ。	・保護者に興味を持って読んでいただけるよう、内容をその都度チームで検討する。 ・活動報告の内容としては内容が薄い。→写真だけの報告になっているが、文章を入れて保護者に伝わりやすくする。 ・発行者を明確にする。
3	・職員の配置数	・余裕をもって支援ができる。 ・児童が困っている時にしっかり対応できる。 ・児童の突発的な行動に対し、複数の職員で対応できる。	・職員の役割を明確にし、手持ち無沙汰になる職員が発生しないようにする。 ・明らかに職員数が多い時は、プログラムの準備などの事務仕事を公平に進められるよう配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流	・交流を望んでいない保護者が一定数いる。	・保護者に希望を伺い、ご希望が多ければ開催を検討する。
2	ペアレントトレーニング	・助言、相談は行っているが認知されていない。	・ペアレントトレーニングの周知をする。
3	地域交流	・希望されていない。	・希望があれば検討する。